

平成29年度マネジメント所属別集計表

			教育長 マネジメント	部長 マネジメント	課長 マネジメント	合 計
生涯学習部	1	総務課	0	0	1	1
	2	生涯学習課	0	2	4	6
	3	市民スポーツ課	0	1	2	3
	4	施設課	0	1	0	1
	5	中央公民館	0	0	2	2
	6	中央図書館	0	0	1	1
学校教育部	7	学校教育課	1	2	5	8
	8	教育相談課	0	1	2	3
	9	学務課	0	0	1	1
	10	学校給食課	0	0	2	2
	11	教育研究所	0	1	3	4
	12	学校給食センター	0	0	1	1
生涯学習部 計			0	4	10	14
学校教育部 計			1	4	14	19
合 計			1	8	24	33

平成29年度マネジメント達成状況別集計表

マネジメント区分	№	事務事業名	達成状況				主管課
			達成	概ね達成	一部達成	未達成	
教育長マネジメント	1	小中一貫教育の推進		○			学校教育課
生涯学習部長 マネジメント	1	第2次那覇市生涯学習推進計画の策定	○				生涯学習課
	2	真和志南地区活き活き人材育成支援施設(仮称)整備事業	○				
	3	那覇市健康ウォーキング推進事業	○				市民スポーツ課
	4	学校校舎等の改築及び耐震改修	○				施設課
学校教育部長 マネジメント	1	防災・減災教育等の推進		○			学校教育課
	2	問題行動に関する行動連携推進	○				
	3	子どもの貧困対策の取り組み	○				教育相談課
	4	初任者・10年経験者・その他研修事業	○				教育研究所
課 長 マネジメント	1	組織体制における課題の整理	○				総務課
	2	第3次那覇市子どもの読書活動推進計画の策定	○				生涯学習課
	3	繁多川・若狭公民館の指定管理者の選定	○				
	4	地域学校連携施設の活用促進			○		
	5	なは青年祭事業	○				
	6	那覇市宮奥武山野球場老朽化抑制事業	○				市民スポーツ課
	7	那覇市スポーツ推進計画策定事業				○	
	8	地域連携事業における実行委員会組織等の支援	○				中央公民館
	9	公民館講座事業	○				
	10	図書館運営事業の指標と目標値の設定及び評価		○			中央図書館
	11	児童生徒の学力向上の取り組み	○				学校教育課
	12	英語教育の充実	○				
	13	道徳教育の充実	○				
	14	特別な支援を要する児童生徒の教育及び支援の充実	○				
	15	校務支援システムの導入			○		教育相談課
	16	不登校対策の取り組み		○			
	17	学習支援の取り組み	○				学務課
	18	就学援助制度の周知強化	○				
	19	学校給食調理場改築事業	○				学校給食課
	20	学校給食調理業務委託事業	○				
	21	教育課題調査研究事業		○			教育研究所
	22	情報セキュリティと情報モラル指導の充実	○				
	23	NARAEネットを活用した研修等事業	○				
	24	老朽化した給食センターの維持管理		○			学校給食センター
達成 (達成率:10割) 概ね達成 (達成率:8割以上10割未満) 一部達成 (達成率:5割以上8割未満) 未達成 (達成率:5割未満)			24件	6件	2件	1件	
			達成	概ね達成	一部達成	未達成	

平成29年度 教育長マネジメント一覧表

№		事務事業名			
1	小中一貫教育の推進	目的・内容	中学校進学時の不登校や問題行動の増加、学習意欲の低下等、学校教育におけるさまざまな課題解決のため、那覇市全小中学校で小中一貫教育を推進していく。	主管課	学校教育課
		年度目標	①各中学校グループの小中一貫教育の取組について評価、分析を行い、成果と課題を明確にする。 ②各中学校グループにおいて、小中一貫教育の取組や成果、課題等を見守り、教職員、保護者、地域の方に情報発信し、情報の共有を図る。	達成状況	概ね達成
		備考	(今後の予定事項及び課題) 小中一貫教育目標の実現に向け、各中学校グループが主体的にマネジメントできる体制の強化が課題である。今年度の成果、課題をもとに次年度の対応策をまとめ、作成した次年度計画を各学校の教育計画に明記し、実践できるようにする。また次年度、コーディネーターが中学校グループの課題等を踏まえた目標を設定し、業務のマネジメント体制を強化する。		

平成29年度 生涯学習部長マネジメント一覧表

№	事務事業名	
1	第2次那覇市生涯学習推進計画の策定	目的・内容 那覇市生涯学習推進計画の評価を踏まえ、課題となっている事項について関連部署・機関と具体的な対応方策を検討し、第2次那覇市生涯学習推進計画を策定する。 主管課 生涯学習課
		年度目標 第2次那覇市生涯学習推進計画の策定。 達成状況 達成
		備考 (今後の予定事項及び課題) ・次年度以降は、生涯学習推進協議会で計画の進捗管理を毎年度実施し、必要に応じて計画の見直し等を行う。
2	真和志南地区生き生き人材育成支援施設(仮称)整備事業	目的・内容 真和志南地区生き生き人材育成支援施設(仮称)建設基本構想に基づき、多様な人材等を育成するため、人材育成施設を建設する。 平成29年度は実施設計の取りまとめ及び事業用地の取得を行う。 主管課 生涯学習課
		年度目標 ①平成29年度へ繰越した実施設計を9月末までに完了する。 ②用地取得に伴う事業認定を県用地課から受ける。 ③不動産鑑定の実施、税務署で税控除の事前協議後、地権者と契約を締結し、法務局へ所有権移転登記を申請する。 達成状況 達成
		備考 (今後の予定事項及び課題) 平成30年度は、建設工事を予定している。交付決定を受け次第、施設課と協力しながら入札を行う。

3	那覇市健康ウォーキング推進事業	目的・内容	市民の健康への意識を醸成し、日常的な健康づくり活動を促進するため、以下に取り組む。 ①健康意識を高め、歩くことを習慣化させるきっかけづくりと地域リーダー育成を目的に、公民館と地域団体が連携したウォーキング講座を開催する。 また、講座からサークル活動への移行を支援し、継続的な活動を目指す。 ②市内企業や地域団体と連携し、健康づくり運動の啓発、広報活動を行う。 ③那覇市健康ウォーキング大会を開催し、ウォーキングの普及と健康意識の高揚を図る。	主管課	市民スポーツ課
		年度目標	①公民館と地域団体が連携したウォーキング講座受講者のウォーキング継続希望率を80%以上とする。 ②企業や地域団体、ウォーキング講座受講者向けに、健康づくりやウォーキングに関する講習や大会、サークル等の情報提供を行う。 ③健康ウォーキング大会は7コース程度。運動へのきっかけ作りとして、初めての参加者を50%以上とし、継続参加希望を90%以上とする。	達成状況	達成
		備考	(今後の予定事項及び課題) ・コース案内に関する意見(案内表示が少ない、わかりづらい、km表示が欲しい等)が多かったので、改善する。 ・広報の充実及び関連イベントを含め、さらに楽しめる大会となるよう企画内容を検討する。大会の参加者を増やすため、魅力あるコース設定や参加者へのサービスの充実を図る。		
4	学校校舎等の改築及び耐震改修	目的・内容	平成28年度終了時における学校校舎等の耐震化率は78%であり、耐震性のない校舎等が、全棟数228棟中50棟(22%)残っている。できるだけ早い時期に学校施設の耐震化を完了させるため、改築及び耐震補強を推進していく。	主管課	施設課
		年度目標	老朽校舎等の改築及び耐震改修事業に係る中・長期事業計画を再検討し、修正版を作成する。	達成状況	達成
		備考	(今後の予定事項及び課題) 計画通りの耐震化を進めるにあたり、今後の予算確保について、引き続き関係部局との調整が必要。		

平成29年度 学校教育部長マネジメント一覧表

No	事務事業名				
1	防災・減災教育等の推進	目的・内容	災害発生時に児童生徒の安全を確保するため、各小中学校において防災・減災体制や避難方法などについての検討を行うとともに、確実な避難訓練を実施し、防災・減災教育を推進する。 また、防災以外の危機管理(学校事故や不審者等)についても、研修会の開催や情報の迅速な共有等を通して関係機関等との連携を密にし、学校を積極的に支援する。	主管課	学校教育課
		年度目標	①通学路の交通安全対策及び危険箇所を把握し、早期改善を行う。 ②緊急地震速報システムを活用した連絡体制を強化する(学校と市教委との連携、システム業者との協力) ③学校安全計画及び危機管理マニュアルの見直し・改善のための指導助言を行う。 ④災害時の避難所運営における教育委員会と学校の連絡体制を確立し、マニュアルの周知を行う。	達成状況	概ね達成
		備考	(今後の予定事項及び課題) ・学校の防火管理体制の円滑な運用に向けた助言 ・H30年度に、緊急地震速報システムが他のシステムに変更になる可能性があるため、連絡体制の見直しが必要。		
2	問題行動に関する行動連携推進	目的・内容	青少年に係る非行問題等を含め、その要因となる事象を分析し、各関係機関(教育相談課、児童相談所、子育て応援課、警察、学校、地域(自治会、青年会等))との総合連携により児童生徒の健全育成を目指し学校適応・社会適応を支援する。	主管課	学校教育課
		年度目標	①「那覇市いじめ防止対策連絡会」(2回)、「那覇市いじめ問題専門委員会」(3回)を今後も更に充実させる。 ②生徒指導主事連絡協議会、生徒サポーター会議、学校警察連絡協議会等にて情報交換を密に行い、連携強化を図る。小中学校生徒指導主事を対象とした「生徒指導主事連絡協議会」を通して、問題行動への対処法や関係機関への繋ぎ方を伝達する。 ③「児童生徒が主体となり、魅力ある学校づくり」を今後も推進し、積極的生徒指導の観点から自治活動を活かした学校づくりの研修会を生徒指導主事連絡協議会で取り組む。	達成状況	達成
		備考	(今後の予定事項及び課題) ①「いじめ問題」については保護者の知識も深まり、学校側への要望も高まっている。各学校へは今後も「初期対応」「学校いじめ対策委員会」を中心とした対応を周知する。 ②問題行動への対応について、「家庭との連携」「職員間の連携」「関係機関との連携」不足の課題がある。問題行動に対しては学校を中心に関係機関との連携対応が必要である。 ③「児童生徒が主体となり、魅力ある学校作り」を今後も推進し、積極的生徒指導の観点から次年度は小中学校で自治活動を活かした学校作りの研修会を生徒指導主事連絡協議会で実施したい。		

平成29年度 学校教育部長マネジメント一覧表

№		事務事業名					
3	子どもの貧困対策の取り組み	目的・内容	各小中学校に子ども寄添支援員（SSW）を配置し、貧困家庭（準要保護世帯等）で不登校等の児童生徒の実態把握を行い、支援の必要な子ども達の登校支援を行う。また、関係機関に繋げる。	主管課	教育相談課		
		年度目標	①各中学校区へ配置する子ども寄添支援員を17名、支援員のフォローアップを行う子ども寄添支援コーディネーターを1名配置する。 ②学校現場や対象児童生徒の家庭への支援に必要な知識等を習得するための研修を実施する。 ③年間300人の児童生徒への支援を実施する。	達成状況	達成		
		備考	(今後の予定事項及び課題) ・小中学校を訪問して、支援が必要な児童生徒を把握し、関係機関と連携しながら必要な支援を実施する。 ・支援に必要な技能の確保や、技能の向上に向けた研修等を継続的に実施する。 [課題] 支援を必要とする家庭には背景に複雑な環境を抱えている場合が多く、各機関との連携を行う上で子ども寄添支援員への専門的な助言指導の充実が必要である。				
4	初任者・10年経験者・その他研修事業	目的・内容	法定研修(1・10年研)以外に、2・3・5年目等教職員のライフステージに応じて必要とされる基本的な資質能力の育成を中心とした研修を実施する。	主管課	教育研究所		
		年度目標	①年間に計画されている法定研修（初任者研修:15回、教職10年経験者研修:12回）と、その他の研修・講座:44回を確実に実施する。 ②受講者の研修に対する内容理解や考え方を把握しながら対応し、県内大学等の講師を活用する等研修内容の工夫や円滑な運営を図り、教職経験年数や職務内容に応じた研修を実施する。	達成状況	達成		
		備考	(今後の予定事項及び課題) ・研修をより充実したものにするために、専門的な知識をもった外部講師の活用を図る。 ・教職2年目研修、教職3年目研修、教職5年研修の計画と円滑な運営。				

平成29年度 課長マネジメント一覧表

№	事務事業名				
1	組織体制における課題の整理	目的・内容	教育行政ニーズへの迅速かつ的確な対応が可能となる組織体制の構築のために課題を整理する。	主管課	総務課
		年度目標	平成29年11月を目途に平成30年度組織体制の構築と定数を確定し、並行して平成31年度以降の組織体制の課題を整理する。	達成状況	達成
		備考	(今後の予定事項及び課題) 平成31年度以降は、整理した課題をもとに行政ニーズに対応した組織体制の構築に努めていく。		
2	第3次那覇市子どもの読書活動推進計画の策定	目的・内容	第2次那覇市子どもの読書活動推進計画の評価を踏まえ、課題となっている事項について関連部署・機関と具体的な対応方策を検討し、第3次那覇市子どもの読書活動推進計画を策定する。	主管課	生涯学習課
		年度目標	「第3次那覇市子どもの読書活動推進計画」の策定。	達成状況	達成
		備考	(今後の予定事項及び課題) ・次年度以降は、計画の進捗管理を毎年度実施する。 ・推進委員会を毎年度開催し、計画の推進について関係課・機関で確認を行い、必要に応じて計画の見直し等を行う。		
3	繁多川・若狭公民館の指定管理者の選定	目的・内容	平成30年度以降の繁多川・若狭公民館の指定管理者の選定に向け、指定管理者の募集・選定、市議会で指定管理者の承認議決を経て、指定管理者と協定の締結を行う。	主管課	生涯学習課
		年度目標	繁多川公民館と若狭公民館の指定管理者を選定し、協定書を締結する。	達成状況	達成
		備考	(今後の予定事項及び課題) 今後は、モニタリング等を活用し指定管理者からの情報を収集する。関係部署と調整する中で、今後の指定管理のあり方について検討する。		

平成29年度 課長マネジメント一覧表

№	事務事業名				
4	地域学校連携施設の活用促進	目的・内容	学校・関係課・地域関係団体等の様々な部署と横断的に協議を行いながら、地域学校連携施設の活用について促進を図る。	主管課	生涯学習課
		年度目標	①施設利用規程の見直し・改正を行い、学校及び地域利用者等へ周知し、運営体制の強化を図る。 ②施設の延べ利用回数を、前年度実績より3パーセント増とする。	達成状況	一部達成
		備考	(一部達成の理由) 年度目標②は達成したが、①施設利用規程の見直し・改正については、『那覇市新しい地域社会の創造会議』での進捗状況を確認しながら進めていくことになった。 (今後の予定事項及び課題) 施設利用規程の改正等については、関係部長クラスで構成される『那覇市新しい地域社会の創造会議』の進捗状況を見ながら改正作業を進める。		
5	なは青年祭事業	目的・内容	各地域で活動する青年団体が誇りを持ち継承・発展に努めている伝統芸能の素晴らしさを広く知ってもらう機会や環境づくりを行う。また、青年団体相互の交流を図ることで団体間の連携を強化し、地域に貢献する若者の健全育成を推進する。	主管課	生涯学習課
		年度目標	なは青年祭へ15団体以上の参加を目指し、青年団体とのネットワークを支援する。	達成状況	達成
		備考	(今後の予定事項及び課題) 青年団体連絡会は、会員数減で弱体化しており、組織の立て直し又は、青年祭の運営を見直す必要がある。また、事業の目的である地域の伝統芸能を披露する青年会の出演が少ないことが課題である。		

平成29年度 課長マネジメント一覧表

No	事務事業名				
6	那覇市営奥武山 野球場老朽化抑 制事業	目的・ 内容	奥武山野球場を津波緊急一次避難施設に位置付けていることから、津波緊急一時避難者とイベント時の会場利用者の安全を確保するため、スタンドを覆う鉄骨大屋根部分の塩害防止対策を施工し、老朽化抑制を図る。 また、観光振興と経済活性化に向けて、プロ野球キャンプ及び公式戦の観客動員数の増加を図り継続誘致を行うため、鉄骨大屋根部分の一部にデザインの配色のイメージアップ塗装を行い機能強化を図る。	主管課	市民スポーツ課
		年度 目標	野球場大屋根ライト側部分の塩害防止対策及びイメージアップ塗装の完成（※2ヶ年事業。30年度は、レフト側）	達成 状況	達成
		備考	（今後の予定事項及び課題） 第1期工事終了分の散水について、指定管理者と調整し、散水スケジュールをつくる必要がある。 平成30年度は、第2期工事（レフト側）を行い、全ての工事を終了する。		
7	那覇市スポーツ推 進計画策定事業	目的・ 内容	市民がスポーツを楽しみ、スポーツを通じて健康でいきいきとした生活を送ることができるまちづくりを推進していくため、スポーツ基本法第10条の規定に基づき、那覇市スポーツ推進計画を策定する。	主管課	市民スポーツ課
		年度 目標	那覇市スポーツ推進計画を今年度中に策定する。	達成 状況	未達成
		備考	（未達成の理由） 国の第2期スポーツ基本計画策定や、県の計画の変更など、両計画から市の計画に取り込むべき事項を整理するため、予算を繰り越すこととした。 （今後の予定事項及び課題） 国の第2期スポーツ基本計画、県のスポーツ推進計画との整合性を図りながら、平成30年度に那覇市スポーツ推進計画を策定する。		
8	地域連携事業にお ける実行委員会組 織の支援	目的・ 内容	地域連携事業における実行委員会組織を支援し、地域文化の継承や地域教育力の向上と地域活動の活性化を図る。	主管課	中央公民館
		年度 目標	①地域イベント（実行委員会等）への支援活動を維持・強化する。 ②首里・真和志・那覇・小禄の各地域でイベントを行い、イベント終了後も地域の関係機関・団体等との情報交換・連携を継続して行う。	達成 状況	達成
		備考	（今後の予定事項及び課題） 継続事業だけでなく、新たな事業企画も視野に入れ、地域活性化へつながる事業を実施する。公民館または事務局として関係機関・団体との連携を強化し、さらに創意・工夫した内容でイベントの成果を高めたい。		

平成29年度 課長マネジメント一覧表

№	事務事業名				
9	公民館講座事業	目的・内容	公民館講座等からサークル活動への移行や支援を行う。また、講座等を通して、学校・地域等社会貢献活動へつながる人材育成を図る。	主管課	中央公民館
		年度目標	①学校・地域等社会貢献活動へつながる人材育成を図るための学級・講座の企画及び実施。 ②受講生へのアンケートによる満足度90%を達成する。	達成状況	達成
		備考	(今後の予定事項及び課題) 地域住民・地域団体の意見・学習ニーズも踏まえた事業の企画実施に継続して取り組む。 地域の教育を支える人材が高齢化していることから、後継者育成や青年層の参加を促す講座の企画・広報の工夫が必要。		
10	図書館運営事業の指標と目標値の設定及び評価	目的・内容	図書館運営事業の指標と目標値を設定し評価することにより、市民への質の高い情報提供を目指して、図書館業務の充実を図る。 指標：①レファレンス件数、②貸出冊数、③リクエスト(予約)件数、④ホームページアクセス件数、⑤来館者数、⑥おはなし会参加者へのアンケートによる満足度	主管課	中央図書館
		年度目標	①レファレンス件数 1,000件 ②貸出冊数 1,090,000冊 ③予約(取り置き)件数 159,400件 ④ホームページアクセス件数 240,000件 ⑤来館者数 460,000人 ⑥おはなし会参加者へのアンケートによる満足度 5点満点中4.3点以上	達成状況	概ね達成
		備考	(今後の予定事項及び課題) 継続して、図書資料の収集、おはなし会、企画展示等を行う。また、障がい者サービスの一環として、サピエ図書館サービスの利用促進を図る。 HPアクセス件数を増やすために、魅力あるデザイン、情報を提供できるようにHP更新を行う。 県立図書館の移転により中央図書館の利用に影響が出ることが予想されることから、駐車場の確保等の課題に速やかに対応する。		

平成29年度 課長マネジメント一覧表

事務事業名					
11	児童生徒の学力向上の取り組み	目的・内容	児童生徒一人一人に確かな学力を向上させ、生きる力を育むために、学力向上計画の周知徹底を図り、日常的な授業改善を実施する。	主管課	学校教育課
		年度目標	①「那覇市学力向上推進要項」(ふくぎじんぶな～プラン)「わかる授業Support Guide」諸学力調査等の結果分析等を活用した学力向上推進を図る。 ②県学力向上Webシステムの効果的な活用方法を確立する。 ③児童生徒の基本的な生活習慣調査で幼小中合同質問項目を設定及び実施し、分析する。 ④確かな学力の向上に向けて、「主体的・対話的で深い学び」(AL:アクティブラーニング)、「キャリア教育」の視点から授業改善を図る。	達成状況	達成
		備考	(今後の予定事項及び課題) 新学習指導要領を見据え作成した那覇市学力向上推進要項の周知徹底を行う。		
12	英語教育の充実	目的・内容	国際化の社会変化に対応するため、国際理解教育を推進し、小中学校における英語教育の充実を図る。	主管課	学校教育課
		年度目標	①次期学習指導要領の先行実施を念頭に置いた、小中連携英語教育の推進 ②英語指導員研修会の内容の充実と教材開発等に係る情報交換の場の効率的な設置 ③異文化交流会を充実させるための英語指導員グループミーティングの活性化	達成状況	達成
		備考	(今後の予定事項及び課題) ・小学校英語における新教材の活用法、文字指導における指導方法等の研究と研修の取組 ・新学習指導要領完全実施時の教育課程の編成と環境整備 ・中学校英語の新学習指導要領の内容の周知徹底と授業改善を推進		

平成29年度 課長マネジメント一覧表

事務事業名					
13	道徳教育の充実	目的・内容	道徳の教科化に伴い、小学校はH30、中学校はH31より検定教科書を導入し「特別の教科 道徳」として実施される。教員の指導力向上のための研修を充実させ、学校の教育活動全体を通じた道徳教育の充実を図る。	主管課	学校教育課
		年度目標	①評価の仕方、「考え、議論する道徳」を取り入れた授業の提案。 ②各学校において各教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連を考慮しながら、道徳科の年間指導計画を作成する。	達成状況	達成
		備考	(今後の予定事項及び課題) 次年度は今年度の研究の成果と課題をもとに中学校における「考え、議論する道徳」の実践に向けて取り組む。また、先行実施となる小学校道徳の課題点も踏まえた研究を行う。		
14	特別な支援を要する児童生徒の教育及び支援の充実	目的・内容	特別な支援を要する児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、生活や学習上の困難を改善又は克服するための適切な指導や必要な支援を行う。	主管課	学校教育課
		年度目標	特別な支援を要する児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育ができる人的支援の充実と全校体制で特別支援教育に取り組むことのできるシステム構築を支援する。	達成状況	達成
		備考	(今後の予定事項及び課題) ○特別支援教育コーディネーター、ヘルパー、支援学級担任の資質向上に向けて今後も研修内容の工夫充実や学校訪問等による指導助言を継続して行う。 ○校内委員会(校内就学支援委員会)の機能化を図り、各学校において就学支援申請の手順(段階)をしっかりと踏まえて手続きすることが大切であることを再確認する必要がある。		
15	校務支援システムの導入	目的・内容	那覇市教育情報化推進計画の策定を受け、教育研究所、関係機関と調整し、全中学校への校務支援システムの導入についての検討・実施を行う。	主管課	学校教育課
		年度目標	①平成30年度の中学校校務支援システム導入に向け、関係課と調整する。 ②検討委員会を設置し、導入方法について検討する。 ③校務支援システムについて、各学校に周知し適切な運用を図る。	達成状況	一部達成
		備考	(一部達成の理由) 年度目標①③は達成した。 ②については、関係課との調整の中で導入方法を検討することになったため、検討委員会は設置しなかった。 (今後の予定事項及び課題) 導入に向けてのスケジュール作成・システム選定に向けての課内調整		

平成29年度 課長マネジメント一覧表

事務事業名					
16	不登校対策の取り組み	目的・内容	不登校児童生徒に絡む要因となる事象を分析し、関係機関との連携及び不登校対策研修会を連動させることにより、児童生徒の学校適応・社会的自立に向けた支援をする。	主管課	教育相談課
		年度目標	①早期発見・早期対応ができる支援体制の確立に向けた不登校対策委員会の開催(毎月) ②不登校の状況把握に関する学校訪問の実施と毎月の問題行動調査から見える課題校への支援訪問 ③不登校対策研修会の実施(先進地の取り組み紹介等) ④不登校対策リーフレットの活用促進(全小中学校への配信・週案への貼付等) ⑤不登校対策支援事業(相談室はりゆん、きら星学級、あけもどろ学級)の実施及び運営	達成状況	概ね達成
		備考	(今後の予定事項及び課題) 不登校児童生徒が増加傾向にあることが課題となっており、その改善に向けて既存のリーフレットを改訂しながら、新たな不登校児童生徒を生まないために各校で実践している効果的な取り組み等を紹介し広く啓発していく。また、「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保に関する法律の公布について(通知)」を教頭連絡会で示し、最新の国の動向を周知するとともに、全職員体制で不登校対策・支援が講じられるように進めていく。		
17	学習支援の取り組み	目的・内容	学習支援室(ていんぼう)に支援員を配置し、不登校及び登校渋りのある児童生徒や、高校への進学を希望している過卒生を対象に、高校受検等に向けた学習支援を行う。	主管課	教育相談課
		年度目標	①学校訪問を、夏休み前(Summerていんぼう)及び夜間学習支援の前に行い、不登校生徒や登校渋りのある生徒並びに過卒生の現状を捉え、ていんぼうの周知と対象者リスト(仮)の作成する。 ②個別の高校入試対策スケジュール表のモデルを作成する。 ③「ていんぼう」での様子や学習状況を定期的に学校(担任や生徒指導主事等)や保護者に提供する。(検定取得など目に見える実績づくり) ④夜間学習支援において、高校入試に向け支援員4人体制と学習支援充実を図る。	達成状況	達成
		備考	(今後の予定事項及び課題) 高校入試に向け更なる学習支援の強化と、個別の計画表及び実績表の作成予定。		
18	就学援助制度の周知強化	目的・内容	支援を必要としている世帯が漏れなく制度を利用できるよう、就学援助制度の周知を強化する。特に今年度から開始される新入学児童生徒学用品費等の前倒し支給についても周知漏れがないよう10月にチラシを配布する。	主管課	学務課
		年度目標	①就学援助制度の周知強化について、各学校が行う新入学説明会用のチラシを新たに作成する。 ②新入学児童生徒学用品費等の前倒し支給に係る周知について、市ホームページへの掲載、学校への通知、及びチラシの配布を行う。 従来の取組に①②を加えて実施することで、就学援助の申請率を平成28年度29.5%から29.7%へ向上させる。	達成状況	達成
		備考	(今後の予定事項及び課題) 今後もチラシ配布及び関係機関との連携を継続し、就学援助制度の周知に取り組む。		

平成29年度 課長マネジメント一覧表

事務事業名					
19	学校給食調理場 改築事業	目的・内容	那覇市学校給食施設整備計画に基づき、老朽化した給食調理場の増改築について、優先順などの検討を加えながら進める。	主管課	学校給食課
		年度目標	平成29年度版「那覇市学校給食施設整備計画」を作成する。	達成状況	達成
		備考	(今後の予定事項及び課題) 最新の「学校校舎改築計画」との整合性を図りながら、「学校給食施設整備計画」を適宜修正する。		
20	学校給食調理業務委託事業	目的・内容	「外部委託の推進に関する指針」に基づき、学校給食の効率的運営を図り経費削減をするため、本務調理員の退職者数を勘案し、学校給食の調理業務民間委託を計画的に進める。	主管課	学校給食課
		年度目標	契約の締結・新業者の委託業務開始	達成状況	達成
		備考	(今後の予定事項及び課題) 選定委員会を開催し、3調理場(上間学校給食センター、銘苅学校給食センター、鏡原学校給食センター)の事業候補者の選定を行い、契約の締結及び新業者の委託業務を開始する。		
21	教育課題調査研究事業	目的・内容	標準学力調査を実施し、学力向上対策の基礎資料とする。学習指導要領に基づいた内容で、全国的水準に照らし、妥当性、信頼性の高い調査・分析を実施することにより学力状況が把握でき、学校全体の重点指導内容や指導改善に有効な資料提供を行う。	主管課	教育研究所
		年度目標	①標準学力調査に係る全国平均正答率との差を、中1国語-1.8ポイント、数学-2ポイント以内、中2国語-3ポイント、数学-3.8ポイント以内を目標とする。 ②経年比較すると、国語・数学とも中1から中2を比べると全国差は縮まりつつあるが、学校間の差は依然としてある。そこで、結果説明会や授業改善研修会・課題改善研修会を通して、結果資料及びWebの有効活用をしている学校の取組を紹介し、全中学校の95%以上が結果資料、Webの活用をすることを目標とする。 ③自校の実態を踏まえ数値目標を設置させ取組の強化を図るとともに、教科等年間指導計画に位置づけさせる。	達成状況	概ね達成
		備考	(今後の予定事項及び課題) 「結果概要」の作成・配付までの手順やスケジュールを明確にし、各学校の配付がスムーズに行えるようにする。また、標準学力調査を生かして学校全体(管理職のリーダーシップの下)で取り組むといった校内体制づくりの具体的な支援を行う。		

平成29年度 課長マネジメント一覧表

事務事業名					
22	情報セキュリティと情報モラル指導の充実	目的・内容	各学校における情報セキュリティの確保を目指す。また、児童生徒に対する情報モラル指導を通して、児童生徒がコンピュータや情報通信ネットワークに慣れ親しみ、主体的・積極的に活用できるよう取り組む。	主管課	教育研究所
		年度目標	①教職員の情報セキュリティ、情報モラルについて各学校への伝達、周知を図るため、情報担当者研修会、経年研修へ位置づけ講義を実施する。 ②校内における情報モラル教育の研修及びインストラクター派遣事業の積極的な活用を継続して呼びかける。 また、研修の支援を行い、年間75時間以上のインストラクターの活用を目指す。	達成状況	達成
		備考	(今後の予定事項及び課題) ・各小中学校のホームページの更新作業について、これまでどおりスムーズに更新できるように支援する。 ・各学校に対して、インストラクター派遣事業の積極的な活用を継続して呼びかける。		
23	NARAEネットを活用した研修等事業	目的・内容	NARAEネットを活用し、琉球大学教育学部と連携してアドバイザースタッフの派遣事業や教育実践ボランティア派遣事業を推進する。	主管課	教育研究所
		年度目標	①推進会議2回、成果報告会2回実施 ②事業実施25件 ③教頭連絡会や各研修会等でのNARAEネットの周知 ④実施校・希望校との意見交換会議の実施	達成状況	達成
		備考	(今後の予定事項及び課題) ・各学校にアドバイザースタッフ派遣事業の積極的な活用を継続して呼びかける。 ・教頭連絡会や各研修会等において講師一覧を配布し、各学校のニーズに合った講師を紹介できるよう周知・広報に努める。		
24	老朽化した給食センターの維持管理	目的・内容	真和志給食センター（S53年建築）、首里給食センター・小禄給食センター（H元年建築）、城岳給食センター（S57年建築）と、4センターの老朽化が進んでおり、屋根や壁等からの漏水、サビや粉塵等の落下があり、安全衛生上支障が出ている。各給食センターごとに年間の修繕計画をたて予算の効率的執行に留意しながら、施設の維持管理を行う。	主管課	学校給食センター
		年度目標	各センターにおいて、随時施設の点検を行い、給食に影響が出ないように修繕の緊急度ランクを設定・調整し、適切な予算執行を図る。	達成状況	概ね達成
		備考	(今後の予定事項及び課題) 施設全体が老朽化しているため、日常の点検に留意して、給食に影響が出ないように事前に対応する。		